

■主催 学研アソシエ

高校教育フォーラム

2016

— 大学そして社会への架橋



キャリアと学びを社会にどうつなぐか

2016年8月6日(土)・7日(日) 会場:メルパルク京都(京都駅前)

「高校教育フォーラム」の趣旨

「高校教育フォーラム」は今年で実質6年目を迎えます。高校現場により密着した討論の場を目指して、一昨年から学研教育みらい→学研アソシエ主催で新たなスタートを切りました。今年度も高校生の学びとキャリアをテーマに、充実したプログラムと大学・高校双方からの登壇者を準備して、皆様をお持ちしています。ぜひ多くの方がご参加くださいますようお願い申し上げます。

フォーラムの詳細について

2016年6月1日より、下記のホームページにてプログラムの詳細をアップいたしますので、そちらをご覧ください。

学研模試 <http://www.gakuryoku.gakken.co.jp/>

お申し込み方法

2016年6月1日より、下記のホームページより、お申し込みください。なお、定員になり次第、締め切らせていただきますので、ご了承ください。学研模試 <http://www.gakuryoku.gakken.co.jp/>

会費・定員

参加費(昼食代を含む)3,000円 懇親会費4,000円

*参加費は8月6日・7日、いずれか1日のみの参加の場合でも3,000円いただきます。ご了承ください。
懇親会費は希望者のみです。

問い合わせ先

(株)学研アソシエ 学力開発事業部

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-13 タケウチビル
Tel:03-3490-4581 Fax:03-3779-0859

第1日 (8月6日 13時開始)

*総合司会I=福永文子(ライター/学研アソシエ)

- 主催者挨拶(13:00 ~ 13:15) 宮原博昭(株式会社学研ホールディングス代表取締役社長)
- イントロダクション(13:15 ~ 13:35) 大堀精一(学研アソシエ「学研・進学情報」監修)

大学の部 (13:35~17:45)

- 登壇者の紹介とレクチャー 1 (13:35 ~ 14:35)
「エビデンスベースで生徒の学習と成長を可視化する」
溝上慎一(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)
- レクチャー 2 (14:45 ~ 15:35)
「アクティブラーニングとしての反転学習」
森朋子(関西大学教育推進部教授)
- レクチャー 3 (15:35 ~ 16:25)
「アクティブラーニングで学ぶ日本の古典」
平野多恵(成蹊大学文学部教授)
- レクチャー 4 (16:35 ~ 17:25)
「数学的リテラシーの観点から高大接続と大学入試を考える」
高橋哲也(大阪府立大学学長補佐・高等教育推進機構副機構長・高等教育推進機構教授)
- 会場ショート討論&質問票書込み(17:25 ~ 17:45)
- 懇親会



第2日 (8月7日 9時開始)

大学の部・続き

- パネル・ディスカッション——質問への回答と1日目の総括(9:00 ~ 10:10)
溝上慎一(ファシリテーター/京大教授)・森朋子(関西大教授)・平野多恵(成蹊大教授)
高橋哲也(大阪府立大教授・学長補佐)

高校の部 (10:20~16:45)

*総合司会II=大堀精一(学研アソシエ「学研・進学情報」監修)

- 実践レポート①(10:20 ~ 10:55)
「能代高校のキャリア教育を振り返る」吉田英亮(秋田県立能代高校教諭)
- 実践レポート②(10:55 ~ 11:30)
「外部資源・外部人材を活用した新たなキャリア支援の試み—教育・労働・福祉の連携—」
金澤信之(神奈川県立田奈高校総括教諭)
- 高校現場からの報告①(11:30 ~ 11:55)
「今、『フクシマ 南相馬』で」川村葉子(福島県立原町高校教諭)
- 高校現場からの報告②(11:55 ~ 12:25)
「社会に貢献できる人材となるために—自己実現ではなく、社会で何を担うべきかを考える—」
宮北純宏&柳生高志(西大和学園教諭)

ランチタイム・ミーティング (12:30 ~ 14:00)

- 挨拶(ランチタイム冒頭) 中村雅夫(学研アソシエ代表取締役社長)
- 特別企画(14:00 ~ 15:00)
村上育朗(教育未来研究会「そぞろ」と高校若手教員によるセッション)
- パネル・ディスカッション(15:00 ~ 16:25)
「高校におけるキャリア教育をどう展開するか」
岩佐峰之(京都市立西京高校主幹教諭)・岡恵美子(三重県立松阪高校教諭)
皆川佳美(広島県立尾道北高校指導教諭)・大堀精一(学研アソシエ)
司会: 福永文子(ライター/学研アソシエ)
- 2日間を振り返って(16:25 ~ 16:45) 大堀精一(学研アソシエ)



吉田英亮 先生



金澤信之 先生



川村葉子 先生



宮北純宏 先生



柳生高志 先生



皆川佳美 先生



岡恵美子 先生



岩佐峰之 先生



福永文子 氏



溝上慎一 先生

京都大学高等教育研究開発推進センター教授、教育学研究科兼任。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒。1996年、京都大学高等教育教授システム開発センター助手。2003年に准教授。2014年から現職。学校法人桐蔭学園教育顧問。自己形成論、青年心理学、学生の学びと成長、アクティブラーニング、トランジションを中心とした大学教育、高大接続の研究を行っている。



高橋哲也 先生

大阪府立大学 学長補佐・高等教育推進機構副機構長・高等教育推進機構教授。1962年大阪に生まれる。明星高等学校卒業。京都大学理学部卒業。博士(理学)。大阪府立大学総合科学部助手。総合教育研究機構教授、副学生センター長、副学長を経て、2013年から現職。大学の教務・入試の責任者が8年目。元々は代数学(整数論)が専門であったが、現在は数学教育、高等教育のマネジメントが研究対象。



森朋子 先生

関西大学教育推進部教授。大阪大学博士(言語文化学)。桐朋女子大学卒業。島根大学教育開発センター准教授。関西大学教育推進部准教授を経て現職。東京大学情報学環反転授業講座フェロー。京都大学高等養育研究開発推進センター研究員を兼務。専門は、学習研究、教育現場での実践知を理論化する基礎研究と、その理論を個別の現場に活用する応用研究を行っている。



平野多恵 先生

成蹊大学文学部教授。富山県立砺波高等学校卒業。お茶の水女子大学文教育学部卒業。東京大学人文社会系大学院日本語日本文学専門分野博士課程修了。博士(文学)。十文字学園女子大学短期大学部准教授を経て現職。専門は日本中世文学、古典文学のエッセンスを体験的に学ぶためのアクティブラーニングに関心を持ち、それに適した教材や方法を探索している。著書に「大学生のための文学レッスン」(共著、三省堂)「明恵 和歌と仏教の相克」(笠間書院)など。



村上育朗 先生

教育未来研究会「そぞろ」代表。「人の心を思いやる教育の実践」を目指し、2010年4月、教育未来研究会「そぞろ」を設立。大船渡高校教頭・私立花巻東高校教頭を経て、現在も全国で講演会活動を展開。東日本大震災では陸前高田市の自宅が全壊し、避難所生活を経験する。その後から被災地の高齢者支援、震災学習への支援を始め、現在も継続。著書に「心を動かす教育論」。



大堀精一 氏

北海道小樽市出身。学研に入社以来、高校生を対象にした雑誌・進路情報・小論文などの分野で仕事を続けてきた。現在は月刊情報誌「学研・進学情報」監修、小論文入試問題分析プロジェクトチーム編集長を兼務。「自分の言葉を持って社会をリアルに生きる」をモットーに、全国各地(45か所)で高校教員対象の小論文対策研究会を開催するほか、高校別の講演も行っている。「高校教育フォーラム」を企画・プロデュース。